

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意

補益剤 補陰剤 12

せつこくやこうがん
石斛夜光丸

平肝熄風・滋陰明目

天門冬・人參・茯苓各 60g・麦門冬・熟地黄・生地黄各 30g・菟絲子・菊花・決明子・杏仁・山藥・枸杞子・牛膝・五味子各 25g・白蒺藜・石斛・肉蓯蓉・川芎・炙甘草・枳殼・青葙子・防風・黃連・犀角・羚羊角各 15g
細末を蜜丸にし、朝、晩に 10g ずつ服用する。

原機啓微

<主治>

肝腎陰虚、火旺

瞳孔散大、目がかすむ、視力低下、羞明、流涙、頭のふらつき、めまい、白内障、硝子体混濁、舌質が紅絳、少苔、脈が細数など。

<病機>

肝血、腎精が不足して目に上注できない状態である。

精血が不足して目に上注できないので、瞳孔（瞳神）散大、目がかすむ、視力低下、内障（透光体の混濁）が生じる。陰虚内熱、生風により風熱が上擾するために、羞明、流涙、頭のふらつき、めまいがみられる。舌質が紅絳、少苔、脈が細数は、陰虚内熱を表わす。

<方意>

本方は、眼科の常用方であり、滋陰養肝して精血を上注させると同時に瀉火熄風する。

生地黄・熟地黄・天門冬・麦門冬・枸杞子・菟絲子・五味子・石斛・牛膝・肉蓯蓉は、肝血、腎精および肺胃の津液を補充し、精血を充盈して目に上注させる。人參・茯苓・山藥・炙甘草は、脾気を健運して精血の生化を促進し、滋補肝腎を補助する。清肝熄風の羚羊角・犀角・黃連疏風明目、平肝熄風の白蒺藜・菊花・防風、清肝明目の決明子・青葙子、疏肝理気の川芎・枳殼は、肝気の調理により平肝熄風、清熱明目に働く。杏仁は肺気を理し、精血の宣散を補助する。全体で滋腎養肝、清熱熄風、明目の効果が得られる。

<参考>

<千金方>の磁朱丸は、磁石・朱砂・神麴からなり、同じく眼疾に対する処方である。

磁朱丸は虚陽上浮、心神不寧、心腎不交による視物不明に有効であり、本方（石斛夜光丸）は肝腎不足、陰虚火旺に適し、病機に違いがある。